

## 中国秋季リーグ入替戦結果報告

広島大学体育会バレーボール部同窓生の皆様

(同窓会連絡フォームへ登録いただいた皆様及び同窓会やコートの仲間等でご連絡いただいた皆様へお送りしています。)

いつも大変お世話になっております。

広島大学体育会バレーボール部です。

昨日、広島大学北体育館において、中国秋季リーグ入替戦が開催されました。

広島大学女子の結果は、以下のとおりです。

vs 広島国際大学 (1部6位)

●1-3 (25-23、14-25、15-25、20-25)

(広大バレー部 X (Twitter))

<https://twitter.com/hiro daiVOLLEY>

1 か月前の練習試合の戦績と1部リーグの疲労から、雰囲気とモチベーションが上がらない相手に対し、広大は普段の練習コートと言うアドバンテージを存分に生かした強いサーブで、強力なセンター線を機能させず、ブロックの的を絞って切り返しから得点する、ほぼ完璧な立ち上がりを見せました。1セット目は、ドリブルやネットタッチ、決め急いだミスもたくさんありましたが、それでも終始3、4点リードする展開で、最後詰め寄られはしたものの、内容的には25-15レベルで相手を圧倒するものでした。相手をよく分析出来ていたことが見ていて明らかで、ブロックは寄り引きが非常に速く、サーブとスパイクはどこを狙えば崩れるかが分かっており、動きと軟打を織り交ぜた頭の良いバレーボールが出来ていたことは素晴らしいの一言です。レシーブではこれまで見られなかった、待っていたの場面も目立ち、勝つならこれしかない展開を自分たちの努力で手繰り寄せました。

2セット目からは相手のサーブに押され始め、キャッチがボール2個ほど短くなり、相手が切り返しのチャンスからセンター線を使える状況が続きました。ただ、自分たちが何か悪くなったわけではなく、自分たちの良さが見えづらくなっていただけで、そこに早く気付いて欲しいと願っていました。1セット目の25点目を取ったレフト平行とライトオープンが軸になっていましたが、レフトは二段、ライトはネットに付けてのインナー、そして決まりに決まっていたクイックの軟打の方が、1部にはないバレーなので相手は嫌だったのかもしれませんが。4セット目は再びサーブで攻め返し、20-20の展開にまで持ち込める力があっただ

けに、一度相手に渡った流れをいかに早く取り戻せるかが問われた試合だったように感じました。とは言え、1部からセットを取った経験すら全くなかったチームなので、4セット目の粘りを褒めなければいけません。

春リーグは山口大学に11点で敗れ、入替戦では同じ広島国際大学に7点で敗れました。それでも1部昇格の目標を変えないチームには、それは目標ではなく理想だと言いました。しかし、西日本インカレが終わった7月以降、毎日汗だくになって基本練習に励み、夏休みの連続オフもわずか1週間で、ひたすら基礎を作り続けるチームの姿がそこにはありました。秋の合宿は連戦連敗で、矢野と東にはチームの足を引っ張っていると言いましたが、今日の入替戦でチームを引っ張っていたのはその矢野と東でした。矢野はボールを引き付けて自分たちの時間とリズムを作り出し、東は迷いのないプレーで緩急を駆使するなど、1部とも互角に戦う頼もしいチームに成長しました。

ここ1か月はこんなに考えないといけないのかと嫌なほど思った毎日だったと思いますが、乗り越えられたのはチームの土台が出来ていたからこそです。ここまでの日々は誰か一人でも欠いたら成立しておらず、14人全員のチームワークがあったからだと全員が言えることが、主将の有川の本当に素晴らしいところなのだと思います。見ていて応援せずにはられない、手を差し伸べずにはられないのが今年のチームの最大の魅力です。1%の可能性を自分たちの力で作り出して、1部昇格が目標であったことを証明し、自分たちにも必ずできることを今のチームに教えてくれたことは、そう遠くない未来の広大を変えることになるかもしれません。2週間後には4年生の引退試合となる広島県インカレがありますが、ここまで本当に良く考えてきましたので、残り2週間はこのチームでバレーボールが出来る喜びを存分に感じ、4年生の姿を目に焼き付けるとともに、精一杯楽しんで欲しいと思います。

これで約1か月間の秋季リーグ戦も無事に閉幕しました。

会場等にてご支援ご声援いただいた同窓生の皆様、本当にありがとうございました。

今後は男女ともに11月18日(土)の広島県インカレへの出場を予定しています。

また、先日行われた「Giving Campaign 2023 (寄付キャンペーン)」の報告ページを作成しましたのでお知らせします。

<https://volley.hiroshima-u.ac.jp/GC2023.html>

引き続きよろしく願いいたします。